



# 日本ビオトープ管理士会 北部九州支部について

ビオトープ(BIOTOP/ドイツ語)とは、その地域にすむ野生の生きものが、自立して生息・生育できるまとまった空間を意味します。

「ビオトープ管理士」は、地域の自然生態系を守り取り戻す役割を担う、ビオトープ事業や自然再生事業を効果的に推進するために必要な、知識、技術、評価・応用能力を持つ方に与えられる最先端の資格で、環境省などの有資格者として登録できるとともに、土木・農業土木・造園学会のCPDとして算入できます。



ビオトープ管理士として認められるためには、(公財)日本生態系協会が実施する「ビオトープ管理士資格試験」に合格することが必要です。

次の試験は2021年11月7日(日)です。



地域の特性に応じたビオトープ・自然再生事業を推進していくためには、従来の計画や設計施工に関する知識、技術に加え、生態系に関する広範な知識に基づいた高い応用能力が要求されます。

全国のビオトープ管理士の研鑽を図り、新しく正確な知識、技術、考え方を保つことを目的に、「日本ビオトープ管理士会」が組織されました。また、各地に地方支部があり、みちのく支部や鹿児島支部などが活動中です。

北部九州支部は、福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、山口県等を主とする約100名のビオトープ管理士と管理士を目指す方で構成されています。



北部九州支部では、ビオトープの普及啓発のため、現地見学、講演会などを企画します。

ビオトープ管理士を増やすための学習会を福岡・北九州・佐賀などで実施しています。

学校・園庭ビオトープの整備・維持管理(宇美小学校:毎月第3土曜)、地域ボランティアの支援、支部総会(7月)、研修会(年数回)などを開催予定です。

北部九州支部の入会金や年会費は無料です。

入会を御希望の方は、メールにて大平宛(ytkohira@gmail.com)に、氏名(フリガナ)\*、級(部門)\*、連絡先(所属先又は自宅等)のメールアドレス\*、住所、電話番号、専門分野、好きな生きもの、抱負、自己PR \*は必須をお知らせください。支部規約が必要な方は下記の連絡先にお問い合わせください。



**連絡先** 大平 裕 (OOHIRA Yutaka)  
日本ビオトープ管理士会北部九州支部長 (施工 1級)  
ytkohira@gmail.com  
一般財団法人 北九州緑化協会 内  
Tel:093-654-1233 Fax:093-654-1231